

# 環境特集

## 水きり、推肥化、リサイクル

### ゴミ減量作戦を展開

糸島市

糸島市は環境保全のため、ゴミ減量大作戦を展開しているが、1年間に処理しているゴミの量は2万9515ト(2015年度)となっている。1千ト前後の増減はあるものの、ここ数年、横ばいの状況だ。

ゴミのうち、燃えるゴミの量は2万6206トで、全体の約89%を占めており、小学校の25リールの約60杯分に相当する。燃えないゴミの量は約7%、粗大ゴミが約4%となっている。ほ

かに医療ゴミ、産業廃棄物がわずかにある。燃えるゴミだけで、1人当たり毎日720gのゴミが出ている。これは、お茶わんでご飯5杯分相当という。燃えるゴミのうち、生ゴミが、ほぼ4割を

占めている。生ゴミの80%は水分で、市では捨てる前にしっかりと水切りをする「水きり運動」を進めている。水切りをすることで、ゴミの量が減るとともに、ゴミ処理の負担は大幅に削減できる。また、食べ残しや調理くずは捨てずに堆肥にする段ボールコンポスト運動も推進している。市は07年度から段ボールコンポストの購

入代金を補助する制度を導入しているが、15年度の助成は2324個で、ピーク時の4980個に比べると、ほぼ半数となっている。燃えるゴミの中には、分別することで資源としてリサイクルできるものが多い。燃えるゴミの3割を占める紙ゴミは、①新聞紙、チラシ②段ボール③雑誌、雑紙類に分別しリサイクルしている。

燃えないゴミ(缶、ペットボトル、瓶なども分別し、資源化している。こうした売り上げは2697万8千円に上っている(15年度)。市生活環境課は、糸島市は循環型社会の構築を目指し、ゴミ減量運動に取り組んでい

る。市民から要望があれば、出前講座を実施するので利用してほしいと呼び掛けている。

### おもちゃ病院の3R活動

### 環境省事例集に掲載

環境省は、糸島市のおもちゃ修理のボランティア団体「おもちゃ病院伊都国」(波多江保彦代表、26人)の取り組みを3月に発行した2016年度版の「3R活動先進事例集」に掲載し紹介した。

同団体は昨年、循環型社会形成の推進功勞者として環境大臣表彰を受けた。同表彰は廃棄物の発生抑制(リデュース)、再利用(リユ

問い合わせは同課092(332)2068。

ース)、再利用(リサイクル)に取り組み、顕著な成果があった個人や企業、団体の功績をたたえるもの。「おもちゃ病院」は環境の3Rをもう一つのR(リペア・修理す



### 修理(Repair)で3R

3R supported by one more R(Repair)

ホランディア団体 おもちゃ病院伊勢国

2016(08).10.20 3R推進協議会3Rマーク使用許諾済み

修理で3Rを支える

る(で支えていること  
になるとして紹介され  
ている。波多江代表は、  
今回の紹介にあたりイ  
ラストを作成し、その  
仕組みを分かりやすく  
解説している。

同会は、年約30回「お  
もちゃ病院」を開催し  
ている。また、小中学校

に出向いて行う授業  
「考えようエコな生活  
」で、自宅から持ち寄っ  
た壊れたおもちゃを自  
ら修理する体験学習を  
指導していることも紹  
介している。

また、おもちゃ修理  
とおもちゃの交換会  
「かえっこ×おもちゃ

病院」提供された個人  
のおもちゃを点検整備  
して福祉施設などに寄  
贈する「おもちゃ箱」  
の事例も掲載された。

2017(H29).05.18 糸島新聞 (3)

(糸島新聞社の使用許諾済み、  
同社に無断で転載することは出来ません)